



▲あいさつした律桂軍駐福岡中華人民共和国総領事



中国重慶市
江津区

5月28日、国交正常化50周年を記念した「中日青年交流会」がオンライン開催され、国際交流員の銭慧文さんら九州内17カ所の日本人大学生など総勢70人が参加しました。
銭さんは交流会で、重慶市江津区と本市が友好交流都市を締結するきっかけとなった*エピソードを紹介し、参加者は「前人の友好善良の志を忘れず、共に日中友好の明るい未来のために力を出していくべき」とコメントしました。
交流会終了後、参加者は「今後も青年という特徴を生かし、日中友好の架け橋となって、新時代の日中関係構築に貢献したい」と感想を寄せていました。
※日中戦争の戦禍、中国八路軍の聶榮臻將軍(当時)が、中国の炭鉱で親を失い置き去りにされた梅美穂子さん(梅北町)を救出しました

▲中日青年交流会の様子

国交50周年を迎えて

本市は1999年11月、中国重慶市江津区およびモンゴル国ウランバートル市と友好交流都市を締結。交流を始めて23年が経過しました。そして、本年は両国が日本と外交関係を樹立して50周年という記念すべき年です。本市の国際交流員を務める銭慧文さん(中国出身)とルイメド・ソヨルマーさん(モンゴル出身)が、記念事業を通して、友好交流の絆を深めました。

モンゴル国
ウランバートル市



▲記念動画撮影の様子



▲動画撮影に参加した皆さん

撮影会の様子を、YouTubeチャンネル「動画都市」に掲載しています。
QRコード

日本モンゴル外交関係樹立50周年を記念し、本市在住のモンゴル人らが日本舞踊の魅力を発信する記念事業を企画。市内で日本舞踊を教える藤間流師範・藤間寿実丸先生から、妻ヶ丘よかとこ音頭に合わせた振り付けを習い、7月3日に集大成となる撮影会が開かれました。
当日は、モンゴル人技能実習生や市内の学生など23人が参加し、ぼんちくんもゲスト出演するなど、会場は大いに盛り上がりました。
国籍や年代の垣根を越えて開催された今回の記念事業。参加した技能実習生は、「初めて地域の人と交流でき、日本の伝統芸能を体験することができて良かった。今後もウランバートル市と都城市の相互交流に貢献したい」と語りました。
本市は、ウランバートル市が日本で最初に友好交流都市を締結した自治体です。この記念事業は両市の絆をさらに深めるものとなりました。

ソヨルマーさん、ありがとう!

友好交流都市の締結と同年に始まったモンゴルからの国際交流員招致。6代目の国際交流員であるルイメド・ソヨルマーさんは、歴代最長である7年の任期を終えて、8月に故郷のモンゴルに帰国します。今回はソヨルマーさんに本市への思いを語っていただきました。

◎問い合わせ 地域振興課国際化推進室 ☎23-2295

都城市の皆さんへ

7年間、国際交流員としてたくさんの方と交流し、充実した日々を送りました。都城市の学びを人生の「宝」として、これからも日本とモンゴル、都城市とウランバートル市の交流に少しでも貢献できるように頑張ります。皆さん、これからもよろしくお願いいたします。

また、特に、学校訪問で出会った、将来を担う明るく元気でかわいい子どもたち、本当にありがとうございました。大好きな皆さんが、今後世界に羽ばたき、ふるさとの魅力を発信してくれることを祈っています。

Луимедг Соёлмаа



7年間、国際交流員として頑張ることができたのは、家族と周囲の方のおかげです。本当に、ありがとうございました。
※次女のサンミシェールちゃん(中央下段)は、まだモンゴルの地を踏んだことがありません



5年間、チームとして同じ目標に向かって頑張った、大好きな同僚の銭ちゃんとジョージ。一緒に過ごした大切な時間は、私の宝物です。これからも、それぞれの地で頑張ろうね!



国際交流員の仕事で、一番好きだった学校訪問。「モンゴルの先生」と呼んでもらいながら、毎年の学校訪問を通して、子どもたちの成長を見守ることができて、とてもやりがいがありました。